**ドミニカ共和国内政・外交・経済（２０１４年１０月）**

１．内政

1. 世論調査

　ア．２日，メキシコのConsulta Mitofsky社は，ラテンアメリカ地域における国家元首の支持率調査を発表，右によるとメディーナ大統領は８９％と地域で最も高い支持率を得る大統領となった。なお，メディーナ大統領は，同社調査で３度連続して最も高い支持率を得る国家元首となった。

　イ．６日，世論調査会社CID Latinamerica社は，国民の８割がメディーナ大統領を支持し，失業と経済低迷が国民の大きな懸念事項とする調査結果を発表した。

　ウ．２８日－２９日，米国世論調査会社Greenberg社は，２０１６年大統領選にメディーナ大統領が立候補可能であれば（憲法により連続再選不可）６５％が投票，９０％以上がメディーナ大統領の仕事ぶりを評価し，６０％以上がメディーナ大統領再選の為に憲法を改正する事に賛成する，との調査結果を発表した。

1. 外務省

　ア．８日，ナバロ外務大臣は，ドミニカ（共）外交を再活性化させると述べ，特に隣国ハイチ及び，中米諸国との関係強化を目指すと述べた。また，２０１５年１月にメディーナ大統領主催の外交フォーラムを開催し，ドミニカ（共）外交２０ヶ月計画を発表する予定とも述べた。

　イ．２８日，外務省は，主要国に駐箚している１４ヶ国の大使と１０ヶ国の総領事・元総領事がサントドミンゴに集まり，これまでのドミニカ（共）外交の評価を行う４日間の会合を開催した。

　ウ．２９日，メディーナ大統領は，セサール･メディーナ在スペイン大使をパナマ大使，アニーバル･デ･カストロ在米大使をスペイン大使へ任命する大統領令を発出した。

1. 幼児１１名の死亡

ア．３日－５日，Robert Reid Cabral小児専門病院において幼児１１名が３日間で死亡したことが確認された。８名は１歳未満であった。遺族は医療器具の整備不良により適切な治療を受けられなかった事が原因と主張したが，病院側は既に危機的状況で幼児が入院したことから助けることが出来なかったと反駁した。

イ．７日，メディーナ大統領は，幼児１１名が死亡した事件を調査するために検事総長，国家捜査局等からなる特別委員会を設置した。

ウ．９日，特別委員会は，幼児１１名が死亡した原因をRobert Reid Cabral小児専門病院の職務怠慢と結論づけ，関係者の処分を勧告した。

1. 厚生大臣の交替

　１０日，メディーナ大統領は，大統領令を発出しイダルゴ厚生大臣に替わり，アルタグラシア・グスマン・マルセリノ健康保険庁長官を新たな厚生大臣に任命し，ロバート・レイド・カブラル病院長他も交替させた。

1. モラレス前外務大臣の逝去

　２５日，モラレス前外務大臣（元副大統領）が，米国テキサス州ヒューストンの病院にて白血病により逝去した（享年７４歳）。２６日，メディーナ大統領は，大統領令を通して２７日から２９日までの３日間の国喪を宣言した。なお，同前外相は，平成元年２月の昭和天皇大喪の礼に，当時副大統領としてドミニカ（共）を代表して列席した。

1. 電力協定

　１４日，メディーナ大統領は，大統領令を通して経済社会委員会を招集し，今後６ヶ月以内に電力セクター改革協定の締結をする事を求めた。

1. フェリックス・バウティスタ上院議員の起訴

　２２日，検事局は，サン・ファン・デ・ラ・マグアナ県選出のフェリックス・バウティスタ上院議員を横領，違法蓄財，汚職，麻薬密輸に絡む資金洗浄等の疑いで予防拘禁を求めるとともに，公判開始を求める起訴状を最高裁判所へ提出した。

1. 輸出促進銀行

　１５日，メディーナ大統領は，住宅銀行を輸出促進銀行へ組織改編する法案を上院へ提出していたが，条文の見直しを行う為に大統領府へ戻すことを上院に要請し認められた。

1. 帰化法関係

ア．９日，サトウキビ農場で働く数十名のハイチ出身者が，ハイチ大使館前で正常化計画に必要となる書類を無償で発給する事を求めて４回目のデモを行った。シネアス大使は，９月１７日，６０歳以上のサトウキビ農場労働者と障害者に対して無償で必要書類を発給すると発表しているが，デモ参加者は全労働者に対して無償発給を求めた。

イ．１７日，内務警察省は，「違法移民状態にある外国人正常化計画」が開始されてから初めて居住証の発給（２年間有効）を７３名に対して行った。最多はハイチの４９名であり，その他１３ヶ国の国籍保持者に発給された。本年６月２日から始まった申請には，これまで１２万人以上のハイチ出身者が申請を行ったが，これまでの所，僅か５００名のみが必要書類を準備することが出来た。

ウ．２２日，メディーナ大統領は，正常化計画申請受付期限が１０月２８日と定められている法１６９－１４を改正して，申請受付を９０日間延長する法案をアベル・マルティネス下院議長に提出した。２９日，上院で可決され法律となり，３１日メディーナ大統領が公布し申請受付が９０日間延長された。

1. 供与式

　ア．２３日，メディーナ大統領は，サントドミンゴ東市のEl Almirante市場開設式に出席した。大統領府地方開発委員会が１億３，５００万ペソ（約３００万米ドル）を投資し，３２２業者が展示できるブースを設置した。

　イ．２７日，メディーナ大統領は，モンテ・プラタ県の貧困者へ１２８軒の住居を供与，２９日には，バラオアナ県とサン・ファン県で合計１２０軒を供与した。政府は，これまで全国１１県で１，１００軒の住居を供与した。

　ウ．１０月中，メディーナ大統領は，小学校６９校の開校式を行った。本年２月からこれまで５１０校，７，０４５教室を供与した。

1. エボラ出血熱

　２１日，アルタグラシ・グスマン厚生大臣は，過去３０日の間にエボラ出血熱が発症している国を訪問した者は当国へ入国できない旨発表した。また，エボラ出血熱対策に７，０００万ペソ（約１６０万米ドル）かけて医療関係者・港湾関係者の訓練，受入体制整備を行うとも発表した。

1. 抗議・治安関係

ア．１４日，珈琲栽培者が，コーヒーさび病被害によりこの２年間で６０億ペソ(約１億４，０００万米ドル)の損失を被ったことから，政府に対して何らかの対応策を求めるとともに，珈琲栽培者が農業銀行に対して負っている２億ペソ（約４６５億米ドル）の負債についても融資返済の条件変更を求め農務省前でデモを行った。

　イ．１４日，数百人のサトウキビ労働者が，年金支給額を５，０００ペソから１０，０００ペソ（約２３２米ドル）へ引き上げることを求めて首都圏の目抜き通りから大統領府までデモ行進を行った。

ウ．１７日，貨物輸送業者が，政府補助金の受領額に絡む労働組合間の紛争から，首都圏の港湾施設へ続く道路を封鎖し，貨物輸送に混乱が生じ多額の損害が出た。

　エ．２３日，盗難バイクを輸出しようとしたハイチ人を追跡していた国境警備の軍人が，射殺された。

オ．２４日，サン・クリストバル県（首都圏の西隣接）に所在するナハジョ・オンブレス刑務所が脱獄を目的とする４人組グループからマシンガンによる襲撃を受け，４名の囚人と刑務所副所長が死亡，１０数名が負傷した（往電第８９７号）。

カ．２７日，サントドミンゴ地下鉄車内に火炎物を持ち込み放火をした疑いで学生が逮捕された。通勤ラッシュ時の放火により３０名以上が怪我をした。

キ．２８日，サントドミンゴ首都にあるHoliday Innに宿泊していたベネズエラ人企業家を誘拐しようと３台の高級車に分乗し武装警察官になりすました１４名がホテルに乗り付けたところ，不審に思ったホテル従業員の通報に逮捕された。

ク．２８日，ドミニカ電力公社とドミニカ送電会社は，サン･クリストバル県（首都圏西隣）にある１３８キロワットの高圧送電線の鉄塔１４塔のボルトや鉄板が外される妨害があったと発表した。

ケ．２９日，バルベルデ県（北部）エスペランサ市において市内のインフラ整備を求めるデモ隊と警官隊が衝突し，１名が死亡，１名が負傷し少なくとも６名が逮捕された。

1. 麻薬関係

ア．２日，検察局は，犯罪科学捜査研究所が９月１５日から２８日までに分析依頼された違法薬物２９４キロの検査結果を発表した。それによると，８８％がコカイン，１０％がマリファナ，０．７％がヘロインであった。

イ．６日，麻薬取締局（DNCD）は，ハイナ・オリエンタル港においてコロンビアから到着した貨物に粘着テープに紛れた１６５袋の違法薬物を押収したと発表した。

　ウ．８日，DNCDは，ハイチ地区の倉庫において，美容クリームと称する１７３箱から棒状のコカイン５８本を押収した。

エ．９日，DNCDは，サントドミンゴ東市における捜査で，４８袋のマリファナと３袋のコカインを陸軍指揮官を含む５名から押収したと発表した。

オ．１４日，DNCDは，エル・セイボ県（東部）ミチェス市で３６キロのコカインを押収し，３名を逮捕したと発表した。

　カ．１７日，DNCDは，サントドミンゴ東市において４２袋の違法薬物を押収し，１名を逮捕したと発表した。薬物は，ドミニカ（共）人とプエルトリコ人からなるグループが保有し，プエルト・プラタ県からプエルトリコへ送付される予定であった。

　キ．２１日，DNCDは，コロンビア・カルタヘナからハイナ港（首都圏）に入港した貨物から７３袋のコカインを押収した。

ク．２４日，DNCDは，ベルギーのブリュッセルからプンタ・カナ空港に到着したドミニカ（共）人（スペイン国籍保持者）の女性のスーツケースから５万４，０００ユーロ，同人の胃から５万５，０００ユーロ，合計約１１万ユーロを押収し，逮捕したと発表。また，２８歳のイタリア人女性が胃に２９袋のコカインを隠し持っていたことから押収・逮捕，更にアムステルダムへ向けて出国しようとした２名のオランダ人から３２袋のコカインを押収・逮捕したと発表した。

ケ．２９日，DNCDは，パナマからカウセード港（首都圏）に入港しプエルトリコへ向けて出港する予定であったコンテナから７７袋，プンタ・カナ空港ではベルギーのブリュッセルへ向けて出発する航空貨物から２１袋の違法薬物を押収したと発表した。これに関係してAviam航空の６名の従業員が取り調べを受けた。

1. オスカー・デ・ラ・レンタ氏の死去

　２０日，当国出身の世界的ファッションデザイナーであるオスカー・デ・ラ・レンタ氏が前立腺ガンを起因とする合併症により米国コネティカット州の自宅で逝去（享年８２歳），当国政府は同氏の死を悼むべく２２日に半旗掲揚を義務づける大統領令を発布した。

２．外交

1. 前マドリード州知事の訪問

７日，メディーナ大統領は，エスペランサ・アギーレ前マドリード州知事の表敬を受け，ラテンアメリカとスペインの社会情勢について意見交換を行った。

1. 英国海軍フリゲート艦の寄港

１１日，英国海軍のフリゲート艦HMS Argyllが寄港し，１２日艦上を一般開放し１４日まで停泊した。１９ヶ国を巡る航海の一環として当国に寄港したが，寄港前にカリブ海洋上で４，０００万米ドル相当のコカインを押収，５名を逮捕し米国側へ引き渡した。

1. ニカラグア大統領秘書の訪問

　１４日，ポール・オキスト・ニカラグア大統領秘書（閣僚）が，当国を訪問しプンタカナにおいてカリブ海運事業者協会に対してニカラグア運河建設の説明会を開催，１６日にはサントドミンゴ市内において当国企業家，学界等に対して説明会を開催した。

1. ハイチ外相の訪問

　１５日，Brutusハイチ外相が，当国を訪問しナバロ外相と会談，違法移民正常化計画の登録申請期日の延長を申し入れた。その他，政治，経済・投資，社会の３分野における両国共通の課題選定に取り組むことに合意した。

1. ホンジュラス大統領の訪問

　１６日，エルナンデス・ホンジュラス大統領が，当国を訪問しメディーナ大統領と会談，両国及び地域の治安・社会問題について話し合った。また，「防犯・緊急事態対応９１１国家システム」の視察を行い，エルナンデス大統領は，ホンジュラスの治安改善にも９１１システムは重要な役割を果たすと述べた。

1. ニューヨーク州知事の訪問

　１７日，アンドリュー・クオモ・ニューヨーク州知事が，ニューヨーク州知事選挙キャンペーンの一環で当国を訪問しメディーナ大統領と会談，ドミニカ（共）人コミュニティーと関係強化を図り，ドミニカ（共）企業とニューヨーク出身企業の為に輸出入銀行を創設する用意があると述べた。同州のドミニカ（共）人コミュニティーは，票田として大きな重要性を持っている。

1. プエルトリコ訪問

　２０日，モンタルボ大統領府大臣を団長とするドミニカ（共）政府代表団が，プエルトリコを訪問，アレハンドロ･パディージャ・プエルトリコ知事を表敬した他，二国間閣僚級会合を行い，治安，教育，経済開発分野の協力に関する協議を行った。

1. 台湾企業のメディーナ大統領表敬

　２１日，台湾企業のGeneral Shoes社の代表者らが，メディーナ大統領を表敬した。Tsai社長は，今後３年間で２００万米ドルから１，０００万米ドルの投資をサンティアゴ（北部）地域に行い，製靴工場６棟を建設し年間３００万足製造する旨述べた。初期投資により３，０００名の新規雇用を生み出す予定。

1. 米州人権裁判所判決

　ア．２２日，米州人権裁判所は，１９９９年－２０００年に起きた２７名のハイチへの集団強制送還事件について，不当な集団強制送還且つ，法の下の平等，個人の自由，適正手続きの保障の侵害であるとして有罪判決を下し，強制送還された者の数名に対してドミニカ（共）国籍及び身分証を付与すること，不当な集団強制送還が二度と起きないように職員を指導すること等を言い渡した。

　イ．２３日，ドミニカ（共）政府は，米州人権裁判所の判決は的外れで事実を歪曲した受け入れがたい判決であるとして，判決の履行を拒否し国家主権に影響を及ぼし得るものとして非難した。

　ウ．３１日，米州人権委員会は，ドミニカ（共）政府に対して２２日下された米州人権裁判所判決を遵守するよう求めた。

1. 第４回ドミニカ（共）・ハイチ閣僚級会合

　２３日，ナバロ外務大臣他閣僚が，ハイチの首都ポルトー・プランスを訪問，ラモット・ハイチ首相他閣僚と第４回ドミニカ（共）・ハイチ閣僚級会合を行い，ナバロ外相は投資基金設立提案と国境付近のロジスティック及びインフラ改善に向けた投資を検討する用意があると述べた。

1. エネルギー鉱山大臣のコロンビア訪問

　２３日，カスティージョ・エネルギー鉱山大臣は，コロンビアのカルタヘナを訪問し世界エネルギー会合に出席した。また，サントス・コロンビア大統領と会談し，コロンビアは当国のエネルギー保障政策立案に協力する旨述べた。

1. 麻薬取締米国務副次官補の来訪

　３１日，ルイス・アレアガ麻薬取締米国務副次官補が，メディーナ大統領を表敬し「防犯・緊急事態対応９１１国家システム」が順調に稼働していることを賞賛し，他国もこのシステムを導入すべきであると述べた。

３．経済

1. 国内の経済活動

ア．１日，中央銀行は，５０，１００，２００，５００，１，０００，２，０００ペソの新銀行券の流通を始めた。

イ．１０日，中央銀行は，２０１４年１月－８月までの経済成長率が６．９％となり，８月は農業，鉱業，フリーゾーン，エネルギー業，小売業，ホテル・レストラン業が牽引したと発表。

ウ．１５日，労働省は，２０１４年７月－９月の民間セクターの新規雇用者が５万９，４４２名となり，本年の新規雇用者数が１２万１，８４８名になったと発表した。

エ．１９日，ホセ･ラファエル・ゴンザレス農務省カカオ局長は，当国はファイン・カカオを生産・輸出できる世界１４ヶ国の１ヶ国であり，生産量では世界第２位の位置にあると述べた。

オ．２３日，バルデス中央銀行総裁は，２０１４年１月－９月の経済成長が７％，インフレは２．５３％であったと発表した。全ての分野で成長し，特に著しく伸びたのは鉱業（２４．１％），建設業（１０．７％），ホテル・レストラン業（８．２％）であった。また，観光収入が前年同期比１１．５％増，海外直接投資は同２０％増となった。

カ．３１日，ロドリゲス・ドミニカ輸出投資センタ－（CEI-RD）長官は，２０１４年１月－９月の輸出が前年同期比６．２１％と大きく伸びたと発表した。輸出が顕著に伸びたのは，カカオ（前年同期比５６％）と有機バナナ（同２０％）であった。輸出額は，フリーゾーンから３６億２，３００万米ドル，それ以外から６４億４，９００万米ドルであった。

1. 電力

　ア．１４日，ドミニカ電力公社（CDEEE）は，電力損失を１３％から１８％程減少させる事に成功し，新たに２１万人に配電を始めたと発表した。右は，米州開発銀行，世界銀行，OPEC国際開発基金から総額１億５，２００万米ドルの支援を得て電力配電網改善事業第１フェーズを実施した結果である。第２フェーズでは，２年間で３億５，０００万米ドルを投資することが決まっている。

　イ．１６日，米国の発電企業AES社は，サントドミンゴ東市のLos Minas発電所にコンバインドサイクル発電を２億６，０００万米ドルかけて建設する起工式を行った。完成すると新たに１１４メガワット発電が可能となり，政府からの補助金を１億２，０００万米ドル節約できるとされる。

1. 観光

９日，ガルシア観光大臣は，９月の訪問観光客数が前年同月比１３．２％増，本年１月から９月までの訪問観光客数は，昨年比３３万人増の３８９万人になった旨発表した。

1. 航空

６日，観光省は，JetBlue航空が，１２月１７日から来年４月にかけてカナダのHamingtonとSaint Georgesから，更に１１月１日から米国ボストンからプエルトプラタへ新たに就航すると発表した。

1. タバコ

６日，大統領府は，政府が保有しているタバコ会社の株式を改編企業資産基金（Fondo Patrimonial de las Empresas Reformadas）が売却することを許可した。政府は，タバコ会社の株式を４９．５％保有しているが，改編企業資産基金から売却が好ましいとの報告を受けたことから決定した。

1. 電気自動車

　６日，ベネズエラの企業家William Mercay氏は，モンテ・クリスティ県（北西部）においてラテンアメリカ大陸では初めてと考えられる電気自動車工場を設立した。生産する電気自動車は，３輪自動車で５２馬力，最高時速１２０キロを出し，１１０ボルト電源で充電を行う。現在，コロンビアとメキシコへ輸出準備を進めており，水素燃料とガソリンのハイブリッド車も生産するとのこと。

1. 鉱物資源

８日，２０１３年に採掘許可を得て試掘を行っていたカナダ企業Precipitate Gold社は，サンファン県において新たな金鉱脈を発見したと発表した。１トン当たり４．５グラム，多いところで１３．４グラムの金採掘が可能と見込まれる他，銀，銅，亜鉛も発見された。

1. 国際関係

ア．７日，ブリュスター米国大使とソフロント麻薬取締局（DNCD）局長は，麻薬探知犬訓練所の開校式に出席した。訓練所は，６６匹の警察犬を訓練するために１５０万米ドルを米国政府が支援した。更に４０匹を訓練するために追加で３０万米ドルを米国が支援する事が決まっている。

イ．２０日，フランス大使館経済担当は，サントドミンゴ地下鉄２号線延長工事に見込まれる総工費３億３，５００万米ドルのうちフランス開発庁は２億１，０００万米ドル支援する用意があると述べた。

ウ．２３日，Pin-Fu台湾大使は，サン･ホセ･デ･オコア県に台湾が２，２００万ペソ（約５１万米ドル）かけて建設した野菜包装工場の竣工式に出席した。

1. 国際機関等

ア．１１日，IMFは，地域経済の見通しを発表し２０１５年のドミニカ（共）の経済成長を４－５％を見込み，２０１４年は観光収入の増加により５．３％以上成長すると見込む。

イ．２１日，副大統領室は，Progresando con Solidaridadプログラム（フェルナンデス前政権で大統領夫人室と副大統領室が行っていたプログラムを統合させた低所得者層向け社会支援プログラム）により，７８．８％が生活状況が改善したとする世界銀行の報告書を発表した。（了）